

第 25 回 鳥類標識検討会について（平成 21 年度） 議事録概要

日 時：2009 年 3 月 29 日（13：30～16：50）

場 所：東京都渋谷区南平台 8-14 山階鳥類研究所 東京分室

出席者：検討委員（8 名中 6 名参加）

上田恵介・永田尚志・廣居忠量・蓮尾純子・川路則友・浜口哲一

環境省 生物多様性センター：水谷知生

野生生物課：西野雄一

山階鳥類研究所・事務局

尾崎清明・佐藤文男・米田重玄・吉安京子

議題：1 標識調査事業の成果報告

2 鳥類標識データベースの活用

3 今後の課題

データベースの作成

カラーマーキングの取り扱い

アトラスの改訂

4 その他

* 議長に上田氏を選出する

< 議題 1 標識調査事業の成果報告 >

〔事務局〕本年度業務は無事に終了した（資料に沿って説明）

〔事務局〕放鳥・回収データの説明（資料に沿って説明）

- ・ ロシアのオナガガモはネチャエフ博士が現地で積極的に集めた為多くなっている。
- ・ カモについてはアメリカからの回収が増加している。
- ・ 国内回収は 328 件あった。デジタルカメラでの撮影による回収が多くなった。
- ・ キンクロハジロとハシブトガラスの長寿記録が更新された。
- ・ ワシミミズクが初回収としてあった。

〔浜口〕長寿記録は全種の一覧表があるのか？

〔事務局〕1995 年までは「鳥類アトラス」に掲げている。新記録は年毎に報告書にまとめている。

〔川路〕2009 年度は報告書は出さないのか？

〔事務局〕2009 年度のデータは 2010 年度の報告書に含める。

〔川路〕諸外国の事例の収集は毎年やるのか？

〔事務局〕毎年ではない

〔永田〕ウミネコ繁殖地でのモニタリング調査からの回収は死体か？

〔事務局〕「化学物質モニタリング調査」での死体回収。燕島のウミネコは毎年バンディングされているので良いデータとなっている。

〔永田〕 そうしたリングを用いた論文も報告書に掲載していくと良い。

〔上田〕 アメリカのオナガガモは面白い。積極的に外部に情報提供してはどうか？

< 議題2 鳥類標識データベースの活用 >

〔永田〕 希少種情報は出さないようにすれば良い。「捕獲地点が明らかにできない」と規定するのは研究者として困る。論文発表ができない。

〔廣居〕 以前は「鳥類標識データベース」を多様性センターに置き、そこへアクセスするという形を考えていたのではないか。

〔水谷〕 生物多様性センターと山階の両方にデータベースがあると管理が難しくなる。山階で管理する。

〔永田〕 一般の人が利用できるデータの範囲と手順を明らかにすればよい。

〔蓮尾〕 データベースの利用制限があるということで良いのではないか？

〔上田〕 利用目的として、学術研究に限らず文化的利用もあるのではないか？

〔浜口〕 神奈川県のアオジのデータすべてとか、件数の多いデータを外に出すときに仕事量が大変ではないか。

〔事務局〕 仕事量の実費をとれるか検討中である。「アクセス関係の利用」は判断が難しい。

〔西野〕 アクセスにも標識が利用されれば、社会貢献になる。

〔上田〕 あまり細かくルールを作らないほうが良いのではないか？

〔蓮尾〕 個別の捕獲放鳥地点の情報が明らかにならないように決めると使用しづらいのではないか？

〔上田〕 「詳細情報」としたらいいのではないか？

< 議題3 今後の課題・調査項目 データベースの作成 >

〔事務局〕 ふたつの大きな問題がある、バンダーによるコンピュータ入力データの推進をどうしたらよいか データベースの遡り（古いデータ）入力、この二件についてご意見を伺いたい。

〔上田〕 どんな入力ソフトを使っているのか？

〔事務局〕 山階で作成したものをバンダーに提供している。

〔永田〕 エクセル入力でもOKというようにすれば誰でも入れてくれるようになるのではないか？

〔事務局〕 そうです。エクセル入力データの変換プログラムの開発を考えても良いのではないか。

〔事務局〕 MS - DOSなので古いと思う。新しいものに移行できる人がいないということがネックである。

〔上田〕 お金がないからできないのか？

〔事務局〕 そう、費用がかかる。

〔永田〕 使いやすいシステムが必要であろう。データサーバーがあればIDを取得して使用できるシステムが作れば便利である。

〔事務局〕 バンダーが集計などのプログラムを改良してくれる例もある。

〔上田〕 データのバックアップは大丈夫か？

〔廣居〕山階のほかに多様性センターにバックアップをおくというのはどうか？リスク管理は必要だろう。

< 議題3 カラーマーキングの取り扱い >

〔事務局〕国内の調整・・・日本鳥類標識協会カラーマーキング調整委員会がある。しかし近年装着者が増加して困っている。国外ではコーディネーターが不在で混乱している。

〔永田〕大きくて広く動き回る種は統一していかないといけない。小鳥のようなあまり動かない種は必要ではないのではないか？

〔上田〕制限をかけるのは難しい。

〔西野〕学術研究許可は申請があれば出すので管理はできない。

〔上田〕すべてに対応は難しいのではないか。

〔廣居〕シギ・チドリのフラッグが混乱し始めている。

< 議題3 アトラスの改訂 >

〔事務局〕95年までのデータで「鳥類アトラス」を出版はした。その後の15年分を追加して2010年までの改訂版を出したい。H22年のデータを含めH23年に出版できるように。（了）